



# THE LETTER 宇都宮東教室

第14号 算数

発刊日 2025年12月9日

文責 熊澤洋一

小学生も5・6年と高学年に進むにつれ、学習内容も難化傾向にあります。そのまま「中学」へ。特に算数は「生活の中で学んできた暗算計算中心の算数」から「単位・割合・速さ・図形」と「深みのある単元」へシフトし、基礎からきちんと学ばなければ「身につく」ことなく時間だけが過ぎて行ってしまいます。そのまま「数学苦手」になりかねません。

お子様が「勉強ってなんの役に立つの」なんて質問してくる時は、「勉強（算数）がわからなくなってきた」のSOSであることがほとんどです。小学生の場合は「反抗心」と言うより、「きちんとした理由を聞き、前向きな気持ちで前進したい向上心の現れ」かもしれません。納得できれば「やらされ勉強」から「自分のための勉強」へと姿勢が変わってくるでしょう。算数の学習には、将来の選択肢・論理的思考力…と書き出しきれない理由がありますが、身近にある「“お金（円）・時間（時速）・生活情報（グラム・%）”」を生活に例えるだけでも重要性は理解できると思います。

違った方向から見ると、「教科書の勉強」だけでなく「なるほど・おもしろいな」なんて「算数」も転がっています。 $1+2+3+\cdots+99+100=?$ 、「えっ？」、「何これ？」と思う問題に対し「考え方」を学び、「算数数学」に興味関心を持ったという生徒もたくさんいます。中には「得意科目」になった生徒まで。規則性、つるかめ算、植木算…に興味関心を引き問題をたくさん用意して小学生5・6年対象に「算数おもしろ講座」を設定しました。「ちょっと見てみようかな」と思った方は、ご連絡いただければ幸いです。